

「高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会（仮称）の設立会議及び第1回協議会」議事要旨

1 日 時 平成20年3月24日（月） 午後6時30分～午後8時

2 場 所 高洲コミュニティセンター 講習室2

3 出席者

(1) 委 員

別添協議会資料2参照

（猪瀬委員の代理として宮永氏が出席。安達委員、原田委員は所用のため欠席。）

(2) 事務局（教育委員会）

大野教育総務部長、山崎企画課長、加茂主査、伊藤主査補、齊藤主事

(3) 傍聴者 8名

4 高洲高浜地区学校適正配置地元代表協議会（仮称）設立会議

(1) 議題

ア 協議会の設立について

イ 委員について

(2) 議事の概要

協議会設立の趣旨等及び協議会委員について事務局から説明があり、協議会の設立及び協議会委員名簿のHP上での公表が承認された。（設立の趣旨等及び協議会委員については、別添協議会資料1、2のとおり）

(3) 質疑応答等発言要旨（敬称略）

〈大 和〉

役員改選等に伴う委員の変更があった場合、委員の任期はどうなるのか。

〈事務局〉

会長が変わった場合、基本的には新しい会長へ引き継ぐが、新会長の推薦のもと、そのまま委員として残ることも可能である。場合により、個別に対応するが、各団体から代表者が出るようにしていく。

5 第1回高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会（仮称）

(1) 議題

ア 会長、副会長の選出

イ 議長の選出

ウ 会の名称について

エ 学校適正配置の概要と高洲・高浜地区の学校の状況について

オ 今後の進め方について

カ その他

(2) 議事の概要

ア 会長、副会長の選出

委員の互選により、会長は篠塚(勲)委員、副会長には尾坂委員と池田委員が選出された。

イ 議長の選出

委員の互選により、池田副会長が選出された。

ウ 会の名称について

「高洲・高浜地区学校適正配置地元代表協議会」(以下、協議会とする。)に決定した。

エ 学校適正配置の概要と高洲・高浜地区の学校の状況について

事務局が説明を行い、その後、質疑応答を行った。

オ 今後の進め方について

- ・協議会は2ヶ月に1回程度の割合で、平日の午前2時間程度を原則とし、会場は高洲コミュニティセンターで開催することが確認された。
- ・次回開催は、平成20年6月18日(水)午前10時から12時に行うこととした。
- ・次回協議会では、高洲・高浜地区の適正配置の方向性に関する課題を洗い出し、協議することが確認された。

カ その他

(ア) 議事録の確認について

今回の議事録を、委員の確認後にホームページ上へ公開することについて承認された。

(イ) P T A・保護者会の役員改選に伴う対応について

役員改選があったら、事務局に連絡する。

(ウ) 協議会を欠席する場合の対応について

事務局に連絡する。

(エ) 連絡先について

委員名簿に記載されている「事務局問合せ先」のとおり。

(オ) 各組織への連絡事項

議事録、資料、委員名簿はホームページ上に公開していくので、各組織で資料の共有をお願いします。

(カ) 課題の洗い出しについて

平成20年4月30日(水)までに別紙「高洲・高浜地区の方向性についての課題について」をFAXか郵送で事務局に送付する。

(3) 質疑応答等発言要旨 (敬称略)

ア 学校適正配置の概要と高洲・高浜地区の学校の状況について

〈篠塚(正)〉

実施計画の提出時期について、目標はあるのか。

〈事務局〉

まず協議会では、合意形成に向けて話し合いを行っていただく。合意形成の期間がど

れくらいかかるかはわからないが、2年くらいを目処に話し合いをしてほしい。合意形成がなされた後に具体的な実施計画を出していただくが、提出時期について目標は設定していない。もし、合意形成が早くなされれば、実施計画の提出も早くなると考えている。

〈本間〉

この協議会で話し合いの枠組みを変えることを考えていくこともできるのか。例えば現在、高浜第二小の子どもたちは磯辺（地区の中学校）に通っている。このように高洲・高浜地区だけの話し合いの場だと、狭い地域で適正配置を考えなければならなくなる。今後、話し合いの枠組みを広げていくことは可能かどうかをお聞きしたい。

〈事務局〉

適正配置を考えていく上で大切なのは、学校規模と距離である。また、学区は地域コミュニティとの整合をとったほうが、より教育活動が活性化していく。地域の方の支援も受けやすい。したがって、規模と配置とコミュニティとの整合を考えながら、一定の話し合いの枠組みを決めた。

ただ、この地域については、現在一部磯辺地区の中学校の学区となっている。そのような地域は磯辺地区の話し合いの枠組みにも参加してもらっている。磯辺地区と高洲・高浜地区は、今後、協議会の中で学区についても話し合っただくことになる。

〈多田〉

高浜3丁目の自治会の者だが、自分（自治会副会長）がこちらの話し合いに、会長が磯辺地区の話し合いに参加している。高洲・高浜地区と磯辺地区の協議会の進展が同じように進んでいけばよいが、どちらかが先に進みどちらかが大幅に遅れたり、両方に属して（話し合いをして）いるのに、一方（の協議会）が終わってしまい一方が残っているというのは一番困る。（協議会の進展について）事務局で調整し、それと併せて進展状況の報告も（それぞれの地区に）してもらえれば、住民で話しながらいろいろな提案もできる。（進展の調整について）十分留意していただきたい。

〈事務局〉

十分考慮していきたい。

イ 今後の進め方について

〈花見〉

今回は（適正配置の）方向性（に関する課題）を洗い出していくということだが、学校や保護者にどのように情報を伝え、次回の話し合いまでに何をどのようにまとめていけばよいのか。教えていただきたい。

〈事務局〉

（課題の洗い出しについての）話し合いについては、いろいろな角度からしていかなければならない。すぐにこうだという結論は出てこないはずである。まずは協議会の資料、内容等の情報が、組織の中で共有されていけばよいのではないかと。次回の話し

合いについて今すぐ課題を出せといわれても出てこないと思うので、別紙「高洲・高浜地区の方向性についての課題について」を用意した。個人的な意見でも構わないので、現在委員として考えている課題を書いてほしい。さらに、今日配布した資料だけでは（話し合いをするのに）不十分だと思うので、協議に必要な資料についても知らせてほしい。4月30日までに提出していただき、事務局がまとめて、できれば（次回協議会の）開催の前までに委員へ送付したい。今回は駆け足でこの地区の適正配置の概要等について説明した。（今後改選などで）委員も代わるので、場合によっては、再度必要な説明は行っていく。十分に情報を共有した中で協議を進めていきたい。

ウ その他

〈事務局〉

議事録の確認について

議事録については、委員の確認後、今後毎回ホームページ上へ公開していくがよろしいか。

〈委員〉

（異議なし）

〈事務局〉

P T A・保護者会の役員改選に伴う対応については、会長が代わった場合、基本的には新しい会長へ引き継ぐが、そのまま現在の委員が引き続き残ることもある。その場合は、新会長の推薦をもらう必要がある。役員の改選があったら事務局に連絡していただき、対応について相談させていただく。

協議会を欠席する場合は、事務局に連絡していただきたい。

連絡先は、委員名簿に記載されている「事務局問合せ先」のとおりで、ホームページのアドレスも記載してある。ホームページでは、既に行った幸町地区、真砂地区、磯辺地区の協議会の内容を見ることができるので参考にさせていただきたい。

議事録、資料、委員名簿はホームページ上に公開していくので、各組織で資料の共有をお願いしたい。また、次回協議会の開催日時・場所について、連絡をお願いしたい。

課題の洗い出しについては、別紙「高洲・高浜地区の方向性についての課題について」を事務局まで送付してほしい。

〈矢野(秀)〉

以前高洲第四小の学区に住んでいたもので、第1次学校適正配置のときに、高洲第四小・真砂第五小との統合の説明会に参加したことがある。今回は保護者の代表として（話し合いに）参加しているが、子どもたちのことなので、保護者全員が真剣に考えているし、いろいろな意見があると考えている。

（実施計画の提出まで）2年を目途に話し合うというのは、統合に向けての話し合いなのか。高洲第四小（と真砂第五小との統合）のときは、反対意見が多く、統合は立ち消えになった。そのときは教育委員会の方が（統合について）説明したが、保護者の不安に対する回答が不十分だった。（例えば）特別支援学級に子どもを通わせてい

る保護者にとって、統合というのは本当に大変で不安なことであるが、そのときは（特別支援学級の対応について）納得できる回答がなかった。

（今回の第2次学校適正配置では、合意形成に向けて）話し合うのであれば、（保護者の意見を）十分に考慮して話し合ってほしい。保護者の意見をきちんと聞いて、納得した上で進めてほしい。

〈事務局〉

第1次学校適正配置の取り組みでは、一定の手順は踏んだが、新聞に学校名が先に出て、地域や保護者の方の不安が大きかった。それに対しては、いろいろな意見をいただいた。今回の取り組みは第1次の反省を元に進めている。こちらも出せる情報は十分出していくので、十分な話し合いを行ってほしい。基本的には、子どもたちにとって一番よい教育環境がどういう環境なのかを第一に考えて話し合いを進めてほしい。最初から統合の是非を決めるのではなく、子どもたちにとってよりよい教育環境とは何かを考えてほしい。（教育委員会としては）一定の規模があったほうが教育活動も充実し、子どもたちにとってのよりよい教育環境となると考えている。小規模校にも良さはあり、変えたくないという意見もあると思うし、一方で、（統合して）もっと（学校を）活性化させたいという意見もあるだろう。いろいろな意見を出し合いながら、協議を進めていただきたい。